【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公開番号】特開2013-228944(P2013-228944A)
【公開日】平成25年11月7日(2013.11.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-061
【出願番号】特願2012-101582(P2012-101582)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　　1/00　　　(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　　1/16　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　　1/00　　　３３０Ａ
Ｇ０８Ｇ　　1/16　　　　　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月20日(2015.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両（１０１）周囲の路面（１０３）を含む画像（１０５）を取得する画像取得手段（３）と、
前記画像のうち、前記路面を含む範囲に対しボケを付加する画像処理手段（５）と、
前記画像処理手段によりボケを付加した画像から走行区画線（１０７）を認識する走行区画線認識手段（５）と、
を備え、
前記画像処理手段は、前記路面を含む範囲に対し、前記車両に近い位置であるほど大きいボケを付加することを特徴とする走行区画線認識装置（１）。
【請求項２】
前記画像処理手段は、前記画像のうち、前記車両寄りの一部の路面の範囲（１１１）に対し、前記一部よりも遠方の路面の範囲（１１３）よりも、大きいボケを付加することを特徴とする請求項１記載の走行車線認識装置。
【請求項３】
前記画像処理手段は、前記画像のうち、前記車両寄りの一部の路面の範囲に対し、選択的にボケを付加することを特徴とする請求項１記載の走行車線認識装置。
【請求項４】
前記画像処理手段によりボケを付加した画像において、前記車両寄りの一部の路面の範囲と、前記一部よりも遠方にある路面の範囲とのボケの大きさが略同一であることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の走行車線認識装置。